



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：三瓶 和秀 幹事：鈴木 弘康 発行：会報・広報委員会

第 3055 例会 (38号) 2017 年 4 月 27 日 (木) 曇

外部卓話 SPEECH

北限のいわき市に オリーブの森をつくる

NPO 法人いわきオリーブプロジェクト

理事 木田 源 泰 様

私たちはオリーブ栽培を通して地域の新たな農業を確立したいと活動しています。2020 年に新規就農者 20 人、オリーブ畑 50 ha の栽培が目標です。

まず 2009 年 11 月 20 日に研究会を設立しました。

2010 年の春からオリーブの植栽を始め、2011 年の冬を越えて、いわきでも耕作は十分に耐えられると見通しがつきました。オリーブ栽培は日照量が肝心なのです。オイルの含有量を決めるのが日照量で、通常でも搾油すると実の量の 10% ほどしか取れないのです。

東日本大震災に遭って、オリーブ栽培は難しいのではと意気消沈したこともありましたが、2011 年 11 月に小豆島（香川県）へ行きました。そこでは多くの人がオリーブの収穫に当たっていて、私たちの現状を報告すると「続けて」「技術的な支援をする」と強く勧めてくれたのです。帰りのバスには、1,000 本の苗を積んで来ました。私たちは再度、奮起して「西の小豆島 東のいわき」とキャッチフレーズを決めて頑張ろうと決意しました。

その後、たくさん支援のボランティアが来てくれました。累計で 3,000 人くらいになりました。昨春秋、初めて収穫したオリーブを搾油しました。実はイタリア製の機械を寄付してくれた方が横浜市の中村さんという方で日本橋ロータリークラブに所属されています。いわき市内で合計 50 リットルのオイルが



できました。素晴らしいオイルで、集まった人がスプーン一杯ずつ味わったのですが、女性の方は特に感激仕切りでした。

このことで感じたのは、新しい農業をつくることのできるのではという期待でした。「体験・共感・共生 共に関係する農業」を目指したい。広い面積のいわきは耕作地も多いでしょうが、いわき全域でできる作物は余りなかったのです。そこでオリーブを基に、多くの人たちと共感できる農業が可能になるのではと思いました。

オリーブは今、一番注目されている作物です。各企業でオリーブを大量に輸入して健康食品として活用しようとする動きがあります。味の素は、オリーブをイタリアンではなく和食に合う素材として、納豆や豆腐、卵かけご飯、漬物などに掛けてみるよう提案しています。トマトジュースもオリーブを数滴注ぐだけでリコピンの吸収が良くなるそうです。

アメリカの第 3 代大統領ジェファソンは「地上で最も豊かな恵みをもたらすのはオリーブである」と語っています。オイルだけでなく、塩漬けにしても絶品。葉はポリフェノールを含んでいるので、お茶やバターに練り込むなどして新たな商品に加工できます。葉っぱビジネスとして、東和（二本松）の桑の葉茶、白河のハト麦茶などとブレンドして「ふくしま最幸健康茶」を作れないかと考えています。

新しい価値をつくるには農業者だけでは解決できません。企業や地域を巻き込んで進めていく必要があります。これが広大な耕作放棄地を解消する手段になる可能性があるのです。例えば、オリーブの木の里親を募って企業などから積極的に支援を得る。苗木を様々な記念品にして育ててもらうのも良いでしょう。今、植田町の商店街でオリーブタウンプロジェクトとして、磐城農高などとも連携しオリーブロードや創作料理の開発などを計画しています。

また、本日お招きいただいた飯野光世さん（プログラム委員長）の飯野八幡神社ともコラボできます。日本最古のオリーブの木は神戸の湊川神社にある樹齢千年の木です。オリーブの木は復興、繁栄、平和、愛、知恵のシンボルに位置付けられています。神社



2016~2017年度
国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

Rotary Serving Humanity

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

に植えると、まれにあるハート型の葉は男女の出会いや婚活の舞台として広報でき、幹は生命の源で繁栄のお守りなどにもなるのです。

これまでの経験から畑こそ最高のコミュニケーションの場になると言えます。「週末オリーブ援農・縁農クラブ」をつくり、週末を利用して家族や仲間、職場の同僚らで畑に行って農業を学び、体験し、食事をともにして、新たな縁を結ぶことができると考えています。いろいろな人が農業と関係することで新規就農者を増やし、新たな姿が生まれるのです。そのきっかけをオリーブが担っていければと思います。

今、2020年東京オリンピック・パラリンピックにオリーブの冠を届けようと県内のボランティアに製作してもらう計画を進めています。私たちは、いわきサンシャインマラソンの全選手にも冠を贈ろうとしています。いずれマラソンの聖地となるでしょう。さらに、いわきにオリーブの森を作ろうと「いわきオリーブ基金」の協力を求めていますので、よろしく願いいたします。

司会：鈴木弘康幹事

〔点鐘・ロータリーソング(奉仕の理想)・四つのテスト(松崎倫久会員)〕



松崎倫久会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○卓話をお願いしたNPO法人いわきオリーブプロジェクト理事・木田源泰氏

★結婚祝



大久保 健蔵さん
(4月28日)

◆会長挨拶ならびに報告



先週は仕事上の理由とはいえ欠席してしまい、誠に申し訳ありませんでした。北海道への添乗でした。この時期でも道南とはいえ北海道は寒く、札幌の隣の北広島は雪が積もっていました。

さて先々週は、いわき平東ロータリークラブの50周年記念式典に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。かなり前から準備をされていたということを言われました。我々もそろそろ70周年の準備を始めなければと思われました。

記念式典で平東RCの姉妹クラブの話などを聞くことができました。隣に座った福島ロータリークラブも最近まで姉妹クラブがなかったが、台湾のロータリークラブと姉妹クラブを結ばれたと聞きました。また、女性会員が最近になってできたことも聞きました。このことが良いことかどうかは別にして、これからの参考になると感じました。記念式典でいろいろ考えさせられ、貴重な時間を過ごせました。

◆幹事報告

- いわき金成公園里山づくり協議会より観察会(5月7日)の案内が届きました。
- いわき平中央、いわき平東、いわき勿来各RCから5月のプログラム予定表が届きました。
- 職場訪問例会(5月18日)の出欠表を回覧しますので確認をお願いします。

委員会報告

◆出席委員会(青木喜久男委員長)

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
4月27日	52名	21名	—

◆ロータリー財団委員会(平戸康明副委員長)

大久保健蔵さん、飯野光世さん、関口武司さん、松崎浩さん。以上4件

◆米山記念奨学会委員会(松崎浩委員長)

大久保健蔵さん、飯野光世さん、松崎浩さん。平戸康明さん。以上4件

◆スマイルボックス委員会(小野寺順正委員長)

♥三瓶和秀さん(木田さん卓話よろしくお願ひします。先週は休んですいませんでした) ♥有賀行秀さん(木田さん卓話よろしくお願ひします) ♥伊藤盛敏さん(誕生祝ありがとうございました) ♥大久保健蔵さん(木田君卓話よろしくお願ひします) ♥八幡恭朗さん(木田さん卓話よろしくお願ひします) ♥松崎浩さん(木田さん卓話楽しみにしています) ♥飯野光世さん(木田さんの卓話楽しみにしています) ♥鈴木弘康さん(木田さん卓話宜しくおねがい致します。分区ゴルフおつかれさまでした) 以上8件

★本日の例会案内 5月11日(木) 12:30~

青少年奉仕委員会担当卓話

お食事メニュー=金目鯛のポワレ、四元豚の Pasta ミニ サラダ仕立て

★次回の例会案内 5月18日(木) 12:30~

職場訪問例会「株式会社ドームいわきベース」

※12時20分に現地集合